

卒業生の言葉

シティライフ学部 第1期卒業 松岡 和樹

新たな事を生み出しやすく、協力し合う仲間、適度な距離感で見守ってくださる教職員の方々に囲まれた環境は、自らのなすべき事を見出す習慣を身に付けた貴重な時間でした。現在、保険代理店で社長を務めています。卒業生として恥ずかしくないよう、日々精進しています。



シティライフ学部 第4期卒業(留学生) エリシバト

内モンゴルから留学し、シティライフ学を学び、卒業後は日本で職を得て家庭を作り、子供にも恵まれています。大学で学んだ知識を基に外食業を営んでいますが、都市生活の変遷に関する弛みない学修なしには事業の持続的成長は期待できません。

開学20周年を心より慶祝します。



シティライフ学部 第7期卒業(留学生) 江 小涛

宇都宮共和大学の4年間は、素晴らしい先生方に恵まれ、留学生の私にとってきわめて有意義な大学生活でした。在学中、指導教授にたくさんのお話を相談でき、大いに役立っています。ここまで導いてくださった大学の教えがあったからこそだと思います。頂いた恩恵を共に「和」を願い、社会に恩返しできるようがんばります。



シティライフ学部 第13期卒業 小林(旧姓江連) 遥

高校時代から公務員になる、という目標がありシティライフ学部を進学先に選びました。そうした私の志望を汲んでくださった先生方のご指導や仲間との学びの中で、様々な将来の選択肢や可能性を広げ、経験したことは、今でも私の大きな糧となっています。学んだこと活かし、地域に貢献できるよう、努めてまいります。



子ども生活学部 第1期卒業 飯塚 美貴

大学時代、同じ夢を持った仲間と楽しい時間を過ごすことができました。彩音祭や保育現場の発表会で、友達と一緒にピアノを演奏できたことは、今でも私の心に残っています。親身になってご指導してくださった先生方や、同じ保育の仕事で喜びや悩みを共有できる「仲間」に出会えたことは、私にとっての大きな宝物です。



シティライフ学部 第1期卒業(社会人) 渡辺 克久

私が大学に入学させて頂いてから早20年を迎え、時の流れの早いことに本当にびっくりしています。今、振り返ってみると社会人として入学することはとても不安でしたが、大学で学んだ事は、現在の私の自信と後輩を育成するための糧となっています。

1期生として卒業したことを誇りに感じています。



シティライフ学部 第1期卒業 五月女 聖

夢であったホテルマンとして働いています。在学中は経済学を学びながら、アルバイトでサービス業を学びました。

厳しい職業ですが、お客様の「ありがとう」は、一番の幸せです。施設見学・ゲストスピーカー等、母校に恩返しが出来ますよう、一生懸命務めています。



シティライフ学部 第5期卒業(社会人) 中野 登喜男

社会人学生として、日本の人口推移を中心に、現状や今後のグローバル化を勉強することが出来ました。卒論や観光農業にも挑戦し、卒業後は田んぼアート制作に奮闘中。

農と観のコラボレーションを通して、地域活性化をはかると共に母校と関わりを保ち、社会に貢献していきたいと思っています。



シティライフ学部 第8期卒業 佐々木 賢太

シティライフ学部では、様々な視点から人々の生活を捉えることができました。講義だけではなく、研究会や海外視察にも取り組みました。その経験は役場職員という職業にそのまま役立っています。サークルや大学祭実行委員会でも活躍の場を与えていただき、大学での4年間は私の輝く財産です。



シティライフ学部 第14期卒業 向田 奈津美

在学中は先生方や友人たちに恵まれ、有意義な時間を過ごすことができました。

現在は損害保険会社の宇都宮支店に勤務し、法人向けにサービスを提供しています。シティライフ学部で学んだことを生かし、地域の産業や暮らしに貢献できるよう努力しています。



子ども生活学部 第3期卒業 落合 桃子

今ではかけがえのない存在となっている学友に囲まれ、日々成長が実感できる生活を過ごしました。温かく親身になって相談に乗ってくださった先生方の存在が心の支えとなっていました。

子どもとの関わりで悩んだ時は、先生方の言葉を思い出しています。大学での学びは、保育者として働く中でも日々活かしています。

